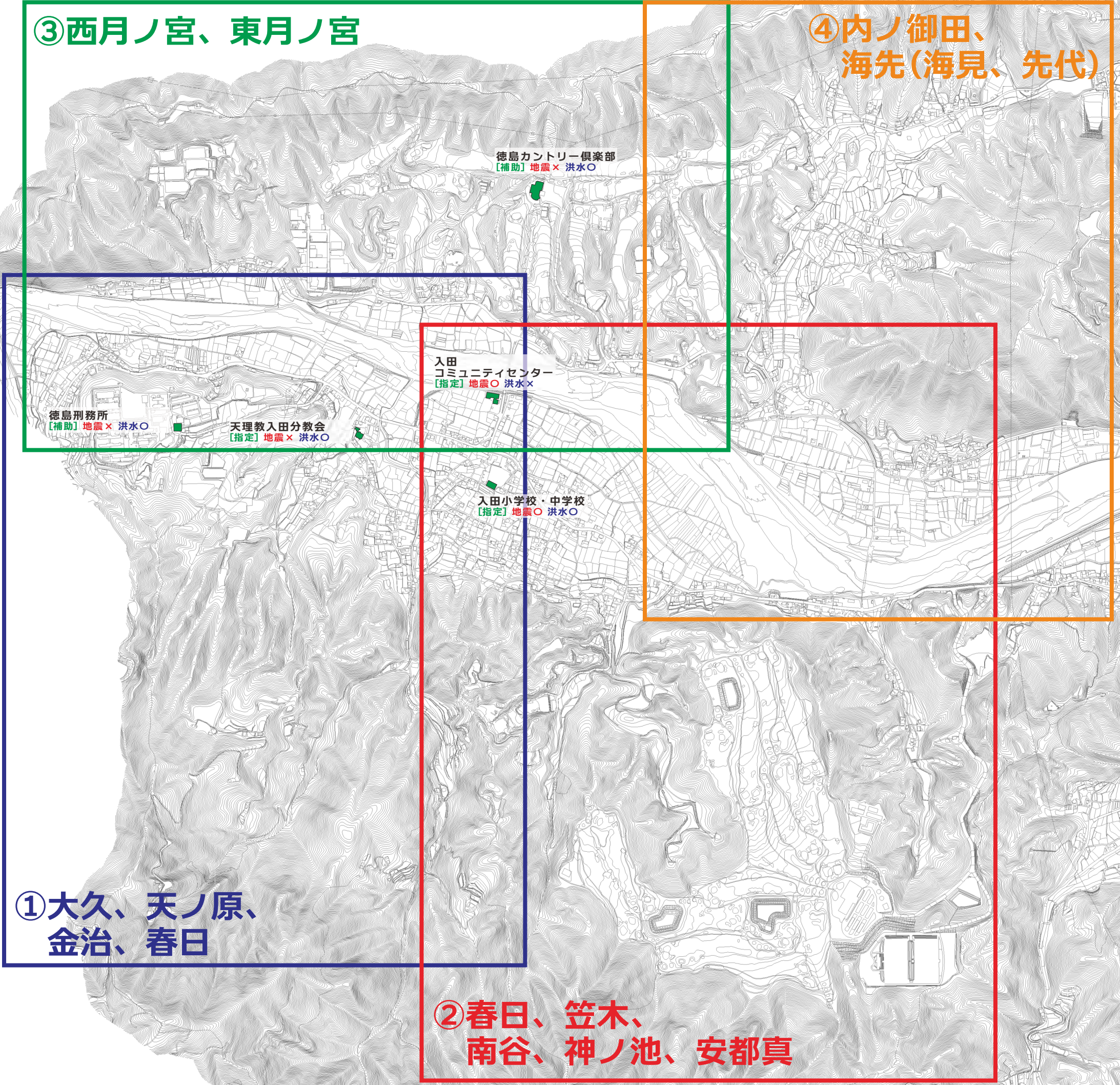


全体区分図



0 500m

製作：入田町まちづくり協議会、入田地区自主防災連合会、入田中学校、徳島大学環境防災研究センター、徳島大学理工学部河川・水文研究室、徳島市
問合せ先：入田コミュニティセンター
(088-644-2124)

「この地図は、徳島市長の承認を得て、1/2,500地形図を複製したものである。
(承認番号 令7徳島市指令都建第445号)」

ハザードマップ



土砂災害
ハザードマップ



ため池
ハザードマップ



鮎喰川洪水
ハザードマップ

徳島市入田地区 大雨・洪水,地震災害避難支援マップの使い方

～発災時に慌てず、安全で迅速な避難をするために～

2026年3月

大雨・洪水、地震災害

避難支援マップの使い方

■南海トラフ地震の準備

想定されている南海トラフ地震において、入田町の揺れの強さは**最大震度6強**です。地盤の沈下・液化化が発生し、建物やブロック塀等の損傷・倒壊、道路の通行障害の発生が予想されます。地域は津波浸水の想定範囲外ですが、念のため「**徳島市 地震・津波防災マップ**」の地震の強度、津波浸水域・浸水深を確かめてください。

この「**入田町 大雨・洪水、地震災害避難支援マップ**」には、災害時の避難所と主要避難経路の情報（注意を要するブロック塀等）を掲載しています。夜間や早朝、雨天に地震が発生してもあわてずに避難できるよう、常日頃から避難先と複数の避難経路を考えたり実際に歩いたりして、避難路の安全性や避難に必要な時間を確かめておきましょう。

■大雨・洪水災害の準備

入田町では何度も大雨・洪水災害を経験してきました。地球温暖化の進行によって、今まで経験したことのない大雨・洪水災害が発生する可能性があります。将来発生するかもしれない災害の規模（雨量、浸水範囲・浸水深）は「**徳島市 洪水・高潮ハザードマップ**」で説明されています。

この「**入田町 大雨・洪水、地震災害避難支援マップ**」には、災害時の避難所、冠水しやすい道路、水路に転落しやすい道路等を掲載しています。避難路として考えている道路にどのような危険が隠れているのかを確認して、早期避難の準備をしておきましょう。

〔大雨・洪水〕基本は早期避難、やむを得ない時の冠水時の避難方法

大雨・洪水が予想される場合は、**早め(明るいうち)の避難が重要**です。夜間や急激な降雨では危険箇所が見えなくなるので動かない方が安全です。やむを得ず**冠水した道路を使って避難する際は以下の点に注意**しましょう。

① **単独避難は避けます**。手を繋いで歩くことは行動の自由を奪うので、お互いの体をロープで繋いで避難します。お年寄りや体の不自由な人などは背負い、幼児は浮袋、乳児はベビー用バスを利用するなど安全を確保します。

② **運動靴**を履いて避難します。長靴では中に水が入った場合に動けなくなります。もちろん裸足は厳禁です。

③ **探り棒**を持って進行方向の安全を確かめながら道路の中央を歩きます。水面下にはどんな危険が潜んでいるかわかりません。止まっている水の場合、歩ける深さは男性で約70cm、女性で約50cm程度ですが、流れがある場合はもっと浅くなります。**避難所までの移動に危険が伴うと思われる場合には、近くの高台や建物の2階以上への垂直避難**も考えましょう。

〔大雨・洪水〕冠水道路には転落の危険性



平成23(2011)年台風15号では、徳島市で観測史上3位となる日雨量430mmを観測しました(最大時間雨量は64mm)。左の2組の写真は、その大雨の前後で撮影された徳島市内の住宅地の様子です。**左は平常時、右は冠水時の写真**です。

地点Aでは転落防止柵がなければ、道路と排水路の境界が不明で転落の危険性がありますし、地点Bでは段差が分からず、転倒等の危険性があることが分かります。

氾濫した**濁っている水**は、水深が浅くても**道路の傾き・段差や障害物、マンホール等を全て隠してしま**います。特に夜間では道路の様子が全く分からなくなり危険です。

〔関連資料〕徳島市 地震・津波防災マップ

南海トラフ巨大地震で想定される**震度分布、津波浸水域、浸水深**、防災対策、避難時持出し品等が詳しく書かれた冊子です。徳島市役 所防災対策課窓口、もしくは市役所ホームページで入手できます。



〔関連資料〕徳島市 洪水・高潮防災マップ



想定最大規模での洪水浸水想定区域、浸水深、警戒レベルと避難行動等が詳しく書かれた冊子です。徳島市役所 防災対策課窓口、もしくは市役所ホームページで入手できます。

なお、令和7年5月16日に公開された入田町より上流側の鮎喰川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)等は、右側のQRコードで見ることができます。



鮎喰川洪水ハザードマップ(入田町周辺)

〔地震〕かぎ保管庫



かぎ保管庫の外観です。建物入口の鍵等が保管されていて、保管庫が**震度5強以上**の揺れを感知すると保管庫の**扉のロックが自動解除**されます。ハンドルを半時計方向に**90度**回すと扉が開きます。

かぎ保管庫に収められているものです。建物入口の鍵、バール、説明書です。発災後、**一番最初に来た人**がこれらを**取り出して**、説明書にしたがって建物入口の解錠等を行ってください。

〔大雨・洪水〕車を使った避難の危険性



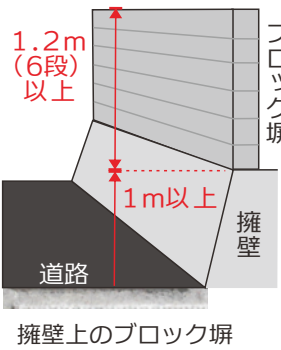
平成23年台風15号時の徳島市内の様子

車で浸水箇所を通過するのは非常に危険です。側溝等に落輪すると動けなくなります。また、浸水深が30cmを超えるとマフラーから水が逆流してエンジンに水が入ります。70cmを超えると水圧のためにドアが開けにくくなり、車から脱出できなくなる可能性があります。

〔地震〕ブロック塀事情

入田町には盛土して周囲の道路より地盤を高くした家屋数が多数あります。

擁壁上のブロック塀はとても揺れやすくなっています。特に右図のような高さ1m以上の擁壁の上に作られた、高さ1.2m以上のブロック塀は、倒壊の危険性が高いとされています。地震災害時には、擁壁上のブロック塀に気を付けて避難することが重要です。



〔地震〕倒壊しやすいブロック塀・擁壁等

地震時に倒壊しやすく、避難路を閉塞したり、避難者を危険にさらす可能性のあるブロック塀には、高いブロック塀（6段、120cm以上）や老朽化したブロック塀のほかに写真に示すようなものがあります。多くは鉄筋量が不足している可能性があるものです。

神社の鳥居や玉垣、石灯籠も倒壊の危険性は高いですし、一見頑丈そうに見える石積みの塀も鉄筋が入っていないために大地震では倒壊する可能性があります。他にも古い擁壁や道路側に傾斜した屋根の瓦にも注意が必要です。本マップには、避難時に注意を要するものがある道路区間に赤破線を施しています。本マップを片手に避難路を歩いて確認してみてください。



老朽化したブロック塀



擁壁上のブロック塀



飾りブロックが多用されたブロック塀



石積み塀・石垣塀



鳥居



玉垣



亀裂の入った擁壁・石垣



古い土葺きの屋根・道路側に傾斜した屋根

徳島市 公式LINE



「友だち登録」して受信設定から「防災」を選択すると、災害時に情報が届きます。また『防災メニュー』からは各種ハザードマップや避難所、雨量・河川水位等、この『大雨・洪水、地震災害避難支援マップ』に掲載している情報にアクセスすることができます。

製作：入田町まちづくり協議会、入田地区自主防災連合会、入田中学校、徳島大学環境防災研究センター、徳島大学理工学部河川・水文研究室、徳島市問合せ先：入田コミュニティセンター(088-644-2124)

大雨・洪水、地震災害避難支援マップ

①大久、天ノ原、金治、春日

2026年3月



大雨・洪水、地震災害避難支援マップ

②春日、笠木、南谷、神ノ池、安都真

2026年3月



大雨・洪水、地震災害避難支援マップ

③西月ノ宮、東月ノ宮

2026年3月



洪水時の鮎喰川(入田春日橋)



記号の意味

大雨時に冠水しやすい道路
縁石や段差等に注意が必要な道路区間

大雨時の避難に注意が必要な箇所
防護柵がなく水路に転落しやすい道路区間や鉄砲水が発生しやすい箇所

地震時の避難に注意が必要な道路
ブロック塀や石垣の倒壊、屋根瓦の落下、山崩れ等が心配される道路区間、狭隘な道路区間

地震時に注意が必要なもの
倒壊しやすい鳥居、石灯籠、石碑等

避難所〔災害対応〕

鍵保管庫

集会所
(避難所ではありません)

防災倉庫

ランドマーク
(地域の目印)

地盤高さ
海拔(m)

製作：入田町まちづくり協議会、入田地区自主防災連合会、入田中学校、徳島大学環境防災研究センター、徳島大学理工学部河川・水文研究室、徳島市
問合せ先：入田コミュニティセンター(088-644-2124)
「この地図は、徳島市長の承認を得て、1/2,500地形図を複製したものである。(承認番号 令7 徳島市指令都建第445号)」

大雨・洪水、地震災害避難支援マップ

④内ノ御田、海先(海見、先代)

2026年3月



梁瀬橋（左：平常時、右：洪水時）



記号の意味

大雨時に冠水しやすい道路
縁石や段差等に注意が必要な道路区間

大雨時の避難に注意が必要な箇所
防護柵がなく水路に転落しやすい箇所や鉄砲水が発生しやすい箇所

地震時の避難に注意が必要な道路
ブロック塀や石垣の倒壊、屋根瓦の落下、山崩れ等が心配される道路区間、狭隘な道路区間

地震時に注意が必要なもの
倒壊しやすい鳥居、石灯籠、石碑等

避難所〔災害対応〕

鍵保管庫

集会所
(避難所ではありません)

防災倉庫

ランドマーク
(地域の目印)

地盤高さ
10.6 海拔(m)

製作：入田町まちづくり協議会、入田地区自主防災連合会、入田中学校、徳島大学環境防災研究センター、徳島大学理工学部河川・水文研究室、徳島市
問合せ先：入田コミュニティセンター(088-644-2124)

「この地図は、徳島市長の承認を得て、1/2,500地形図を複製したものである。(承認番号 令7 徳島市指令都建第445号)」